

求 職 支 援

ふる里就職ガイダンスを開催

が主役の地域おこし事業に12件の応募がありました。
各事業の審査は、▼自発的で活性化の趣旨に沿うか▼目的が達成され効果が見込めるか▼将来的に市全域に波及する見込みがあるか▼先導的で斬新性があるか



ふるさとで働きたい学生らと地元企業が面談

市などが主催する両磐地区ふる里就職ガイダンスは4月28日、アイドームで催されました。地元へ帰って働きたい学生、Uターン、Iターン希望者と地元企業の面談の場として設けられているもので、今年で17年目。市内・両磐などの企業30社が参加しました。スーツ姿で少し緊張した

るか▼新規事業または継続すること効果がある事業か▼一体感の醸成、人材育成、産業振興に寄与するか▼交流人口の増加が見込めるかなどの観点で実施。その結果、地域おこし一般事業では「花の郷づくりプロジェクト

トK事業（清田親交会など26件、若者が主役の地域おこし事業で「いわいつこ飛行隊in骨寺」（社）一関青年会議所）など11件、合わせて37件を補助対象事業に採択し、1963万8千円を助成することに決定しました。

補助の趣旨などから採択が見送られた事業についても、市民の交流や活力ある地域づくりに向けた、意欲的なアイデアが寄せられました。
同事業による補助は事業費の3分の2以内。同一事業への助

成は3年間を限度としています。事業は22年度まで行っていく予定です。
◎問い合わせ先
本庁地域振興課地域係
☎28671

面持ちの学生ら83人は、「訪問カード」を手に、興味を持った企業の人事担当者から説明を受け、熱心に質問していました。
営業職1人、技術職3人を募集するという(株)ウツヅ一関工場の永澤洋部長はこのガイダンスは地元で働く意思をしっかりともった人が訪れる貴重な機会。長く勤めてくれる人材を採用したい」と意欲的でした。盛岡の専門学校に在学中の女性と、東京で10数年働き最近Uターンしたという男性は「学校に紹介されて参加しました。今後も情報収集を続けたい」「家族から聞いて参加しました。多くの企業が一同に会し地元企業を知るいい機会です」と話していました。
会場内には、ハローワークやジョブカフェ一関のコーナーも設けられ、さまざまな就職に関する相談に応じる体制も整えられました。

公用車13台を売却、442万円

行政 改革



旧町村長車などを一般競争入札により公売



32人が入札に参加

市は18年12月に策定した行政改革大綱と集中改革プランに基づき、行政改革を進めています。このほどその一環として、公用車の台数見直しによる管理コストの縮減を図るため、活用頻度の低い公用車を一般競争入札により売却しました。

売却した車両は、旧町村長などが使用していた車両7台のほか、乗用車、ダンプ、道路清掃車など合わせて13台。登録年度は昭和60年から平成9年、走行距離は道路清掃車を除きいずれも10万キロ以上のものです。
入札は4月24日、市役所本庁で行われ、32人が参加。すべての車両が合計409万4242円で落札されました。
落札金額に消費税とリサイクル料を加えた442万193円は、本年度の市一般会計の歳入となります。
また、車両の売却により、年間の維持管理費200万円程度が節約されたこととなります。